

【第 1 号議案】 2024年度事業報告・決算報告・監査報告承認の件

2024年度事業報告
(2024年4月1日～2025年3月31日)

1、フードバンク事業

フードバンク事業では、まだ食べられるのにさまざまな理由で廃棄される食品を個人や企業から寄贈してもらい、食の支援を必要とする生活困窮世帯や低所得で子育てするひとり親・ふたり親家庭への食のセーフティーネット事業を支える。また地域の福祉団体などへ寄贈食品の無償提供を行う。

(1) 2024年度入庫(食品寄贈 2025年 3 月まで)集計 (単位kg)

2024年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計	前年度
市民	182	140	267	495	306	342	202	170	425	166	155	373	3,223	4,704
企業・団体	919	707	915	908	312	1,251	866	1,886	527	947	2,051	719	12,008	12,802
常設	78	72	195	291	244	120	175	256	248	174	136	201	2,190	3,749
生協	150	150	145	424	175	179	174	563	183	177	343	270	2,933	2,584
イベント			35								73		108	48
廃棄	-21	-13	-18	-13	-30	-33	-10	-16	-15	-17	-25	-15	-226	-279
購入	7			13	63	3	1	408	53			324	872	485
総計	1,315	1,056	1,539	2,118	1,070	1,862	1,408	3,267	1,421	1,447	2,733	1,872	21,108	24,093

設立以来はじめて食品取扱量が減りました。前年度の食品寄贈量が 24 トンに対し 2024 年度は 21 トンと 3 トン(12.5%)減。物価高の影響か、特に個人からの寄贈が 36%減と低調でした。企業・団体からの寄贈量はほぼ同じとはいえ、内容的には災害備蓄品や飲料が多く、おかず系食品の寄贈は少ない状況。

施設面では、6 月に粕江市の施設大規模改修の一環で倉庫にエアコンを設置していただき、電気代の負担はあっても大きく改善できました。一方、夏場の暑さが厳しいと市庁舎作業所の閉庁時の温度管理も課題となります。

① 市民寄贈

家庭で使わない食品や購入してフードバンク市庁舎作業所や事務所/倉庫への持ち込み、宅配便で届く市民の寄贈食品は約 1.5 トン(約 31%)減りました。購入寄付の「Amazon 欲しいものリスト」からの寄付も、昨年度に比べ金額換算で約 15 万円減と低調でした。

* 2024 年度 Amazon ほしいものリスト寄贈状況(円換算)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総計	前年度
食品	4,782	9,191	20,930	61,462	15,231	48,919	5,252	13,833	26,546	12,999	7,179	16,782	243,106	375,563
物品			3,410	10,585	1,660								15,655	33,628
総計	4,782	9,191	24,340	72,047	16,891	48,919	5,252	13,833	26,546	12,999	7,179	16,782	258,761	409,191

しかし今年度はじめて野菜 261 kg を寄付される地元の農家さんなど、個人でお米や必要な食品などを購入して寄贈される常連寄贈者の支援がありました。

② 常設寄贈受付場所(倉庫/作業所を除き)は11か所に拡大

2024 年度早々の 4 月に正吉苑二番館に食品寄贈ケースが新設され、5 月には市民活動支援センター「こまえくぼ 1234」の移転により、懸案だった市役所ロビーへのフードドライブケースが設置されました。また 7 月には移転

したコープ調布染地店にもケース設置が叶い、集める場所は調布市でも当会に寄贈されることになりました。さらに11月には賛助企業のアクアカラメトロポリタンの敷地内に寄贈ケースが設置され、食品を寄付できる場所が増えて身近にあることで、寄贈量の確保に大きな力になっています。

常 設	総重量 (kg)	うち米	前年度 総重量	前年度 うち米
こまえくぼ1234	—	—	1,058.0	281
狛江市役所 (5月新設)	960.7	172	—	—
社会福祉協議会(あいとぴあセンター)	489.9	94	1,532.1	677
こまえ苑	182.0	55	302.1	188
こまえ正吉苑	119.0	14	262.6	127
こまえ正吉苑二番館 (4月新設)	15.7	0	—	—
ふらっとなんぶ	40.3	13	318.4	146
岩戸地域センター	254.0	31	143.4	19
上和泉地域センター	99.9	36	28.3	4
アクアカラメトロポリタン (11月新設)	28.4	0	—	—
合計	2189.9	414	3,644.9	1,442

③ 企業・団体

全国フードバンク推進協議会マッチング企業のコカ・コーラボトラーズジャパン、森乳業、ヤクルトなどをはじめ、尾西食品、堀口珈琲などや、ファミリーマート2店舗、ダイエー都内3店舗、カーブス5店舗のフードドライブ品の寄贈も受けた。また、東京都マッチングシステム、こどもサポート証券ネットなどを積極的に活用しました。

市内の団体によるフードドライブでは、商工会青年部や狛江市社会福祉法人連絡会が実施して寄贈を受けた。地元の狛東都でははじめて社内フードドライブに取り組まれ、またSDGs学習で和泉小学校が今年度も夏・冬・春にスクールフードドライブに取り組んで寄贈を受けた。三田国際学園高校の学園祭でフードドライブ、ほかに賛助団体3色パステルアートの購入寄贈や、おてらおやつクラブのおすそ分け、天理教江東分教会、三田会の会員個人での継続した寄贈も続いている。

またお米の不足から子育て応援で農水省の政府備蓄米の交付や、環境省の省内フードドライブ食品、狛江市安心安全課の災害備蓄品など国や行政からの入荷もあった。

※ 企業による常設フードドライブからの寄贈実績

*「ファミリーマートフードドライブ」は企業・団体に区分されます。(単位:kg)

店 名	重量	うち米	前年度	前年度うち米
ファミリーマート狛江東和泉店	114.9	18	228.5	115
ファミリーマート東野川二丁目店	185.2	39	248.9	125
合計	300.1	57	477.4	240

*「ダイエーグループ店舗フードドライブ」は企業・団体に区分されます。(単位:kg)

店 名	重量	うち米	前年度	前年度うち米
ダイエー三軒茶屋店	199.6	5	171.5	20
ダイエー幡ヶ谷店	224.3	22	376.3	114
フーディウム下北沢店	454.3	17	304.9	55
合計	878.2	44	852.7	189

2024 年度食品等を寄贈いただいた企業・団体一覧 敬称略・順不同		
こま YELL	狛江市商工会青年部	丸三証券㈱
(イオン)まいばすけっと久地駅北店	社会福祉法人連絡会 7 団体	三田会
(イオン)マックスバリュ厚木下荻野店	城南信用金庫狛江支店	三田国際学園 Irenic フードドライブ
(イオン)マックスバリュ小田原荻窪店	ダイエー三軒茶屋店	武蔵野市役所
(イオン)マックスバリュ開成駅前店	ダイエー幡ヶ谷店	明治ホールディングス㈱
(イオン)マックスバリュ開成店	正受院	名糖産業㈱
3 色パステルアート	天理教江東分教会	森乳業㈱
KOYO 証券㈱	東京すずらんの会	コウキ食品㈱
NTT コムウェア㈱	東京都未利用マッチングシステム	楽天証券㈱
アサヒグループ食品㈱	東都生協	華厳院(おてらおやつクラブ)
今村証券㈱	東洋精糖㈱	㈱泉屋東京店
エスリード㈱(広田証券)	中山法律事務所	㈱エム・ティー・フード
エフエムジー & ミッション㈱	西光寺(おてらおやつクラブ)	㈱だいこう証券ビジネス
岡三証券㈱	日産証券㈱	㈱東都
尾西食品㈱	日本証券業協会 SDGs 推進室	マネックス証券㈱
カーブスアメリカ稲城店	農水省	㈱トラスト・ワイン
カーブス上野毛店	野村証券㈱	㈱トラスト・ワン
カーブス高円寺店	パルシステム狛江センター	㈱日清練乳
カーブス狛江駅前店	ファミリーマート狛江東和泉店	㈱プランニング ㊦ ㊧ ㊨ ㊩
カーブス祖師谷大蔵店	ファミリーマート東野川二丁目店	㈱ヤクルト本社
覚東町会	フーディアム下北沢店	岩井コスモ証券㈱
カルゲン製薬㈱	フードバンク調布	銀座ステファニー㈱
環境省	フードバンクみたか	御台橋商栄会
薬樹薬局野川店	フードバンクむさしの	広友物産㈱
コープみらい	フェリオ成城	東京都生協連
コープみらい染地	府中派遣村	品川インターシティマネジメント㈱
コカ・コーラボトラーズジャパン㈱	堀口コーヒー	和泉小学校フードドライブ
NPO 多摩川フレンズ	狛江市安心安全課	

④ イベントでのフードドライブ

6月1日「こまエコまつり」のフードドライブでは、34.8 kg 食品寄贈があった。また 2 月 8 日にはパルシステム東京狛江センターで 5 年振りにセンターまつりが開催され、フードドライブを実施し、73.4 kg の食品が集まった。

⑤ 生活協同組合による支援

お米の高騰や店頭になくなるなかでも、コープみらいから毎月 5kg×30 袋、パルシステム東京狛江センターからも 7・11 月に 640 kg のお米の寄贈を受けた。東都生協のフードドライブは今年度も2回、9月 234 kg、2024年2月 173.7kg 寄贈を受け、「未来につなぐ募金」で 5 万円相当の商品寄贈を受けた。またコープ調布染地店に設置されたフードドライブ食品が寄贈されるなど、2024 年度も生協との連携で食料支援事業が支えられている。

* 生活協同組合寄贈実績 (単位:kg)

生活協同組合名	重量	うち米	前年度重量	前年度うち米
コープみらい	1,820.7	1,795	1,640.0	1,640
コープ調布染地店 常設フードドライブ	219.9	40	-	-

東都生協フードドライブ	484.4	34	570.5	131
パルシステム東京狛江センター	640.0	640	339.0	339

⑥ 廃棄となる食品

市民寄贈やフードドライブでは、賞味期限切れや封を切っているもの、期限不明食品は廃棄処分としている。

(2) 地域の福祉団体への食品提供

食堂系団体は食事の提供やお弁当の配布、イベントもやれるようになって、一部お米を制限したが約 2.1 トン(うちお米 324 kg)の食材を提供できた。ごはんと居場所の連絡会では、他都市の食中毒のことも話題に上り、メニューに気を遣っている。新たな居場所事業者や開催回数を増やす団体もあり、昨年度より約2トン提供量は増えた。

団体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
総重量	481	711	188	993	391	339	347	760	429	319	441	796	6,195	6,391
うち米	40	44	30	40	20	45	15	20	37	15	45	25	376	745.8
件数	7	10	16	19	25	15	22	17	17	17	10	22	197	148

* 主な食品提供団体

子ども・おとな食堂系	ごはん+居場所おかえり	月末食堂	みんなの居場所	ひかりっこ食堂	こまち			
障がい者・高齢者施設	えるぶ	こまえ工房	こまえ通り	ひなた会	ハンズプレイス	グループホーム朋	共生の家	こまえ苑
子ども・困窮者支援他	プレイパーク	こまえ派遣村	府中派遣村	一時宿泊所 若葉荘	タルトタタン	青年会議所		

2、食のセーフティーネット事業

食のセーフティーネット事業とは、狛江市との食料支援連携協定により、さまざまな理由で一時的に困窮し、食の支援を必要とする世帯へ、生活困窮自立相談窓口「こま YELL」からの依頼書を受け、世帯に合わせた食品を提供する事業と子育て世帯で低所得のひとり親・ふたり親家庭を対象に、学校給食のない時期に食料を提供する食料支援事業。また年4回学習支援をうける子どもたちにお菓子や飲料も提供している。

(1) こま YELL を通じた食料支援

- ① 生活困窮者自立支援窓口「こま YELL」への食料提供は、毎週月曜・木曜の午後 1 時から3時、市庁舎作業所で食品寄贈受付と、こま YELL の依頼書をもとに世帯に合わせた食品セットをして提供している。

提供件数は、2024 年度から自立相談の公平性で支援基準を設定して、支援は基本1ヶ月を原則にして、上限3ヶ月の食料支援提供としたことからか、月平均 109 件から 85 件に提供依頼数は減りました。

(単位kg)

こま YELL	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
提供総量	508	466	473	473	372	439	474	423	413	435	486	551	5,513	6,921
依頼提供	487	415	433	423	361	405	459	409	378	392	464	518	5,154	6,529
うち米	144	129	143	78	71	126	136	107	126	137	118	120	1,435	1,985
件数	88	77	87	95	91	95	102	77	68	67	85	93	1,025	1,315
備蓄用	20	51	40	42	10	34	15	14	27	43	20	30	346	392
うち米	6	21	14	7		12	3	2	9	9	5	8	96	104
件数	4	16	10	17	5	12	7	8	11	18	7	12	127	129

- ② 学習支援を受ける子どもたちへ、年4回お菓子・飲料を提供している。こま YELL は小・中高生の相談支援対象家庭、子ども若者政策課は小4～高校生までのひとり親家庭の子どもたちへの支援を行っている。

		夏休み	ハロウィン	クリスマス	春休み	合計	前年度
こま YELL 学習支援	件数	25	26	27	32	110	123
	お菓子・飲料提供量	27.5kg	22.1kg	18.9kg	38.4kg	106.9kg	106.0kg
子ども若者政策課 学習支援	件数	32	30	30	30	122	131
	お菓子・飲料提供量	35.2kg	24.0g	26.0kg	36.0kg	121.2kg	108.7kg

(2)「学校給食のない時期」食料支援で、子育て応援と不定期で「おすそ分けお渡し会」にも取り組む

子育て応援の支援対象は、夏休み支援では狛江市の 7 月末の就学援助受給決定通知書発送時と児童扶養手当況届提出案内の発送時に同封する「子育て応援食料支援案内」に申込まれた世帯で、冬休み時期は夏休み支援世帯と 12 月ひとり親医療証書送付時に同封する案内から、申し込んだ世帯に食品を提供する。3月の春休み支援は、夏・冬休み支援の申込み世帯にメールで案内して実施している。

2024 年度夏休み支援182 世帯、冬休みには168 世帯、春休みは160 世帯から応募があり、配送と直接受渡しで食品を提供した。物価高が家計を圧迫している状況が続いていることから、4月・5月・9月・11月、2025年2月の5回、子育て応援に申し込んだ世帯に、一斉メールで「おすそ分けお渡し会」の申込を受け付けて実施した。

寄贈食品が減っていることで提供食品が少ないなか、農家さんからの地元野菜の寄付を受けて喜ばれた。お米の不足から、政府備蓄米の交付を受けて何とか確保できたが、調味料やインスタント麺、缶詰など食材の不足分を補助金で買い足し、日用品なども提供した。

子育て応援事業も6年目を迎え、子育て世帯とも顔見知りになってスタッフとの交流などもあり、この事業が子育てへの励みや支えになっているとアンケートにも感謝の声が多く書かれている。お渡し会では子ども連れで取りに来る方も多くなり、冬休み支援から空くじなしのお菓子が当たる抽選会をやって好評だった。

2024年度（前年度） 学校給食のない時期の食料支援 支援世帯数・人数				
	世帯数	親+子供数	18 歳以下人数	食料支援量 kg
2024 年夏休み	182 (189)	567 (588)	332 (342)	1,973 (3,483)
2024 年冬休み	168 (198)	502 (614)	292 (360)	1,886 (2,305)
2025 年春休み	160 (154)	490 (477)	284 (276)	2,542 (1,725)

2024年度子育て応援 お渡し会（不定期）								
提供先		4 月	5 月	9 月	11 月	2 月	計	前年度（7 回）
子育て 応援	世帯数	92	92	59	96	93	432	621
	食料支援量 kg	321	337	167	540	748	2,113	3,513
	（内米 kg）	184	184	0	490	486	1,344	2,772

寄贈食品に災害備蓄食品のアルファ米が多く入るため、美味しく食べてもらえるよう、今年度はスタッフで独自にメニューを開発し、アルファ米レシピを冊子にまとめた。今後子育て応援にも活用していきます。

(3)子育て応援親子体験会を開催

2024年度は食料支援だけでなく、子どもの剥奪指数の高い親子で楽しめる様々な体験企画を実施しました。

- 7 月 27 日「3色パステルアートの体験会」（西河原公民館）に 4 家族、9 人の親子が参加。
- 8 月 20 日「食品リサイクル工場（日本フードエコロジーセンター：相模原市）見学会」に、4 家族、子ども 6 人、賛助団体「こまち」から子ども4人が参加。

- ③ 3月23日「バルーンアート体験会」4家族、10人の親子が参加。参加者にはレシピ付きでアルファ米を提供しました。

*子どもの貧困の剥奪指数とは、社会における最低限の生活を満たす項目の欠如の度合いを測定する指標

3、フードバンクの普及・啓発事業

広く食品ロス削減を呼びかけ、ロス食品を生活困窮者支援に活かす地域の「食の分かち合い」をフードバンク活動として提起し、地域に発信することを通して共に支え合う心豊かな地域社会を創ることを目的に、啓発活動を行う。

2024年度は食品ロス削減で以下の広報・啓発活動を実施しました。

- ① 6月1日、「こまエコまつり」(市民広場)で、広報も兼ねてフードライブを実施して寄贈食品35kg回収。
- ② 10月13日(日)上和泉地域センターまつりで、パネル展示・チラシ配布をして食品寄贈を呼びかけた。
- ③ 10月18日(金)狛江市と共催で2年ぶりに「フードバンク狛江とつながる地域の団体交流会」を26団体51名が参加して開催し、活動報告や子育て応援で食料支援を受ける利用者の話を聞くなど意見交換をはかりました。
- ④ 10月21日(月)～23日(水)狛江市消費者月間で活動のパネル展示(市役所ロビー)を実施しました。
- ⑤ 2025年2月8日(土)、5年ぶりの開催のパルシステム東京狛江センターまつりでフードライブを実施し、73kgの食品寄贈を受けた。
- ⑥ 媒体を利用した広報活動
 - ・紙媒体

リーフレット	2種類 1100部	2024年5月 A4判 500、A5判 200 2024年8月 A4判 200、A5判 200
ニュースレター	合計4回 3,000枚	2024年6月 No.39 800 2024年9月 No.40 800 2024年12月 No.41 800 2025年3月 No.42 600
チラシ 公営掲示板・公共施設・ 町内会・スーパー等で 配布/掲示 ポスティング	合計 9,050枚	2024年5・6月 2,600枚:市役所周辺寄贈呼びかけチラシ 2024年6・7月 2,100枚:夏休み子育て応援食品寄贈 2024年10・11月 750枚:寄付を呼びかけるチラシ 2024年10・11月 2,200枚:冬休み子育て応援食品寄贈 2025年1月 1,400枚:春休み子育て応援食品寄贈
アルファ米レシピ冊子	600部	2025年3月

- ・ポスターの掲示＝和泉エンジニアリングサービス(東和泉)の専用掲示板、OKストアー、籠屋、木村メガネ店頭、理事長宅・支援者宅でポスター掲示。
- ・インターネット媒体

facebook	毎週更新 https://www.facebook.com/foodbank.komae/
X (旧 Twitter)	活動日毎に更新 https://twitter.com/foodbankkomae
ホームページ	イベントの告知や報告随時更新 https://fb-komae.org/

- ・テレビ、ラジオ、新聞、広報誌

物価の高騰が続くことでフードバンクへの食品寄贈が減っている状況について、新聞やテレビの取材が相次いだ。

2024 年 6 月 1 日	情報誌「わっこ」	市役所ロビーにフードドライブケースが設置される
6 月 14 日	狛江の FM ラジオ	子育て世帯への夏休み食料支援の食品寄贈呼びかけ
6 月 27 日	読売 KODOMO 新聞	「食品ロス、半分に減らす」の記事にフードバンク狛江掲載
7 月 1 日	広報こまえ	子育て応援夏休み支援の食品寄付呼びかけ記事掲載
7 月 20 日	読売新聞(夕刊)	「フードバンク SOS」でフードバンク狛江の活動紹介
7 月 23 日	NHK TV	ニュース7 「フードバンクで食品寄付が全国的に減少」
8 月 4 日	TBS TV	サンデーモーニング「夏休み子どもの格差」で取材放映
11月 1 日	広報こまえ	子育て応援冬休み支援の食品寄付呼びかけ記事掲載
11月15日	狛江の FM ラジオ	子育て世帯への冬休み食料支援の食品寄贈呼びかけ
2025 年 2 月 14 日	狛江の FM ラジオ	子育て世帯への春休み食料支援の食品寄贈呼びかけ
3月 1 日	情報誌「わっこ」	社会福祉法人連絡会フードバンクに食品寄贈される

4、フードバンク活動を普及するための調査・研究事業

子育て応援食料支援で申し込み家庭に、アンケートを実施しました。(ホームページに実施報告掲載)

- ・ 夏休み支援： 1) 夏休みは学校給食がありませんが、お子様のお昼ごはんはどうされていますか？
(回答 79) 2) 節約の工夫があれば是非教えてください。
3) 食品を受け取った感想や寄贈者へのメッセージなど、ご自由にお書きください。
- ・ 冬休み支援： 1) 物価が高騰していますが、買い控えているものはありますか？
(回答 77) 2) 生活に困窮したときの相談窓口「こまメール」を知っていましたか？
3) 子ども食堂を利用したことはありますか？ ある方はどこを利用しましたか？
4) 食品を受け取った感想など、ご自由に記入してください。
- ・ 春休み支援： 子どもたちが新年度を迎えるにあたり、この一年の思いなど自由に記入ください。
(回答 70) (詳細はホームページ <https://fb-komae.org/> 子育て応援実施報告書を参照)

5、組織基盤整備と運営について

組織体制では一年を通じて役員・事務局スタッフメンバーの変更もなく、月1回の事務局会議と理事会を開催できた。事務局ではLINEを活用して情報を共有し、会議を通じて打合せを行いメンバー・役員の頑張りで、日頃の開所日活動や事業を継続できた。

ボランティアは、事務局スタッフのほかは平日の開所日活動に参加できるメンバーに限られてきて、なかなか安定した人材確保が難しい。団体に関わるメンバーは、役員を含め昨年度 27 名、今年度は26 名に減ってきた。LINE で連絡を取り合って、シフト制で倉庫・事務所、市庁舎作業所の要員確保を図っている。

アウトリーチ、ボランティアの確保、財政基盤の課題と向き合った一年で、フードバンク活動の持続可能性を模索して、市の福祉相談課はじめ関係部署と地域の諸団体と「団体交流会」を開催。諸団体の連携で食の支え合いの地域の仕組みづくりに協力を求めてきた。今後も課題として取り組んでいきたい。

(1) 倉庫と市庁舎作業所での活動

① 事務所/倉庫での活動。

西野川倉庫・事務所は、市庁舎作業所への配送と常設寄贈所の集荷、企業・市民からの食品寄贈(寄付・会費)受入れ、地域の諸団体の食品受け取り拠点で、子育て応援食品セット・発送や受け取り場所にもなっている。

開所日は事務局長・事務局次長が主軸になり、配送担当と毎回 2～3名と月1～2回参加するボランティアを含め開所日運営してきた。子育て応援事業食品ストック・食品整理・倉庫管理は事務局次長が担っている。車での配送・集荷担当と力仕事を担えるボランティアの確保が課題。

③ 市庁舎作業所の活動。

市庁舎作業所の開所日は、責任者を含めて 2～3名で市民からの寄贈食品(寄付)の受入れと仕分け、こま YELL からの依頼書により食品セット(米の小分け)、倉庫から配送された食品の仕分け・棚入れ・月末棚卸をしている。月末の棚卸しは定例化し 3～4名で食品チェックと在庫管理をしている。開所日メンバーは、事務局の2名の日もあって、ボランティアの確保と事務局後任の確保が課題となっている。

(2) ボランティア・役員の交流・研修

1 月 14 日、市庁舎作業所で食品を提供している市の相談窓口こまエールの職員と役員・ボランティアスタッフで情報交換会を開催し、自立支援の実情やセット食品の要望など質問や意見を出し合い交流を図った。

1月25 日(土)には、日頃 2 カ所での活動で会う機会のない役員・ボランティア・会員の交流の場として、18名が参加して新年会を開催し、スタッフ独自の開発したアルファ米レシピの試食や、バルーンアート実演とオーボエ演奏なども楽しんだ。

また、コロナ禍で集まれなかった周辺フードバンク 4 団体(粕江、調布、みたか、むさしの)で、はじめて交流の機会を持った。全国フードバンク推進協議会との合意書締結提案への質問のため代表理事の米山氏も同席し、お互いの活動状況や課題について意見交換を行った。

(3) 運営基盤の整備

① 持続可能な事業活動のために。

2022年度から2年かけて完成した規程書類に続き、2024 年度は「食品衛生管理ガイドライン」策定に取り組み、2 名が食品衛生責任者養成講習会を受講した。これにより、安全で安定したフードバンク活動を運営するために、日頃の食品や施設の衛生管理について役員・ボランティアスタッフと共有して取り組んだ。

引き続き、フードバンク団体への消費者庁など国の施策動向や全国フードバンク推進協議会との合意書提案もあり、フードバンク粕江として「食品提供・寄付ガイドライン」作成が必要になっている。

② 組織の現状と財政基盤の確立に向けて。

会員の加入状況は、3 月31日現在、正会員46 名(昨年43名)、賛助会員個人43 名(昨年 44名)団体 16 団体(昨年 8)で、賛助団体を拡大することができた。それでも財政基盤整備には不十分で、今後も継続した働きかけと支援者の拡大に取り組む必要がある。

今年度はフードバンクへの寄付は 268 万円で、目標の180万を上回り、昨年度の約 50%プラスと大幅に増やすことができた。三菱 UFJ 信託銀行からの 50 万円の寄付と個人からの多額の寄付が大きかった。

・寄付者総数 :298 件、寄付総額 : 2,680,425 円(昨年 324 件、1,763,965円)

・団体からの寄付 :三菱 UFJ 信託銀行、トータス往診クリニック、天理教江東分教会、三田会、粕江高校いちょう会
3 色パステルアート、商工会青年部、城南信用金庫、株式会社 東都、西河原公民館

*クレジット決済 SQUARE:延べ 160 人、707,023 円、マンスリーサポータ 17 人、94,599 円/月

・助成金:2024 年 4 月 「くらしと生協「子どもの貧困」支援活動への応援助成」 250,000 円

2024 年 7 月 「コープみらい×中央共同募金会 子ども・子育て支援助成」 270,000 円

2024 年 12 月 MDRT 助成金 100,000 円

* MDRT とは世界で活躍する生命保険募集人のプロフェッショナルが会社の垣根を越えて相互研鑽や社会貢献活動をしている団体。

・補助金:2024 年 4 月

粕江市「生活困窮者自立支援機関と連携する NPO 法人に対する活動支援事業補助金」 500,000 円

2024 年 5 月 東京都「令和5年度フードパントリー緊急支援事業補助金」 400,000 円

6、2024 年度活動経過（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

2024年	4 月	10 日	福祉相談課・こま YELL と三者協議開催
		11 日	こまえ正吉苑二番館に FD ケースを設置
		20 日・22 日	おすそ分けお渡し会
		22 日	第8回通常総会の案内発送
	5月	2 日	狛江市役所入口に FD ケースを設置
		9 日	東都生協新入職員6名の研修受入れ
		13 日	松原市長と面談
		25 日	第8回通常総会開催
			狛江三田会総会であいさつ
	6月	1 日	こまエコまつりでフードドライブ実施
		2 日	子育て応援おすそ分けお渡し会2日目
		3 日	倉庫・事務所の改装工事開始
		12 日	2024 子育て応援で狛江市関連3課合同会議
		14 日	コマラジ出演
		27 日	読売 KODOMO 新聞がフードバンク狛江を掲載
	7月	1 日	広報こまえ7月号に食品寄贈の記事掲載
		2 日	倉庫・事務所の改装完了、倉庫にエアコンが設置される
		8 日	こまメールに学習支援お菓子セット提供
		11 日	パルシステム狛江センターお米 240 kg 寄贈
		18 日	和泉小学校からフードドライブで 31.7 kg 寄贈
			子ども若者政策課に学習支援菓子セット提供
		23 日	NHK の撮影取材 & 夜のニュース7で放映
		26 日	コープみらい調布染地店に FD ケースが設置
		27 日	子育て応援で3色パステルアート体験会を開催
	8月	1 日	TBS 撮影取材
		4 日	TBS サンデーモーニング「風をよむ」で放映
		5 日	夏休み子育て応援食品セット・発送はじまる
		8 日	初めて市庁舎作業所で夏休み子育て応援お渡し会
		9・10 日	西野川倉庫で夏休み子育て応援お渡し会開催
		20 日	子育て応援で日本フードエコロジーセンター見学会
		28 日	福祉相談課・こまメールと三者協議開催
	9月	9 日	東都生協調布センターでフードドライブ品受取り
		17 日	子育て応援おすそ分けお渡し会 1 日目
		19 日	子育て応援おすそ分けお渡し会 2 日目
	10 月	8 日	こまメール学習支援お菓子セット提供
		11 日	福祉相談課と団体交流会打合せ
		13 日	上和泉地域センターまつりでパネル展示
		17 日	㈱東都のフードドライブ品受取り
		18 日	フードバンク活動で繋がる団体交流会開催
		21～23 日	市役所ロビーくらしフェスタでパネル展示
		27 日	三田国際学園祭フードドライブ品受取り

		31日	子ども若者政策課学習支援お菓子提供
	11月	1日	広報こまえ 11月1日号に食品寄贈の記事掲載
		5日	環境省省内フードドライブ品受取り
		15日	コマラジ出演
		17日	市民まつりで商工会青年部フードドライブ
		21日	冬休み子育て応援申込案内送信
		23日	お米のおすそ分けお渡し会1日目
		25日	お米のおすそ分けお渡し会 2 日目
	12月	4日	冬休み子育て応援第1次申込締め切り
		12・14日	冬休み子育て応援食品お渡し会
		15日	社会福祉協議会法人化50周年で表彰される
		22日	ひとり親等医療証申込締め切り
		23日	医療証申込分食品発送
		25日	子ども若者政策課学習支援 Xmas セット提供
		26日	仕事納め・大掃除
2025年	1月	6日	仕事始め・ちびチュウ団体視察受け入れ
		14日	こまエールと情報交換会
		25日	新年会兼アルファ米試食会
		30日	社会福祉法人連絡会フードドライブ品受取
	2月	8日	パルスシステム狛江センターまつりフードドライブ参加
		8・10・11日	政府備蓄米おすそ分けお渡し会
		14日	コマラジ出演
		19日	多摩地区フードバンク 4 団体交流会
		20日	東都生協調布センターでフードドライブ品受取
			カーブスアメリカ稲城店フードドライブ品受取
		23日	春休み子育て応援申込み開始メール送信
		25日	カーブス祖師ヶ谷大蔵店 FD 集荷
	3月	2日	春休み子育て応援申込み締め切り
		8・10・13日	春休み子育て応援食品お渡し会
		23日	子育て応援バルーンアート体験会